

オプトアウト用情報公開文書 2（複数施設研究）

市立貝塚病院 小児科 作成日：2022年7月20日

1. 研究課題名	プロテオミクス手法による卵黄消化管アレルギーの要因解析
2. 研究の対象	臨床研究「卵黄をアレルゲンとする Acute Food protein-induced enterocolitis syndrome (FPIES) 小児の予後に関する研究～多施設共同前向きコホート研究」（以下、先行研究という）に同意、登録され、研究用採血検体を保存されている方
3. 研究目的・方法	<p>【目的】小児の消化管アレルギーのうち、新生児期から乳児期に発症する食物蛋白誘発胃腸炎（Food protein-induced enterocolitis syndrome ; FPIES)は、抗原特異的 IgE 非依存性とされていますが、IgE の関与についての報告もあり、詳細は明らかではありません。一方、近年のタンパク解析技術の進歩により、血液検体から消化管アレルギーの原因抗原を詳細に特定することが可能になっています。この最新の技術を用いて、先の研究で取得した卵黄をアレルゲンとする急性 FPIES 患者さんの血液検体について、種々のタンパク解析を行い、卵黄即時型アレルギー患者さんと比較検討することによって、アレルギー疾患の診断や治療方法、患者さんの QOL の向上に役立つ情報を得ることを目的としています。</p> <p>【方法】先行研究で同意を得て本研究の代表施設で保管されている卵黄急性 FPIES 患者さんの血液検体についてタンパク質の詳細な解析を行います。</p> <p>【期間】施設承認～2027年 3月31日（口延長の可能性あり）</p>
4. 研究に用いる試料・情報の種類	<p>試料：先行研究にて採取、保管され、2次利用に関する同意が得られている血液検体</p> <p>情報：病歴等（先行研究で収集された情報を含む）</p>
5. 外部への試料・情報の提供	<p>試料はすでに匿名化の上、研究元で保管されている。</p> <p>情報は先行研究において、研究元である近大病院小児科へ提供済。</p>
6. 研究組織	<p>共同研究機関</p> <p>山本 敏彦（ホーユー株式会社 総合研究所）</p> <p>比嘉勇介、山本百合（大阪掖済会病院小児科）</p> <p>田中裕子（大阪警察病院小児科）</p> <p>住本 真一、安西香織（大阪赤十字病院小児科）</p> <p>赤川翔平、中井陽子（関西医科大学小児科学教室）</p> <p>岡藤郁夫（神戸市立医療センター中央市民病院小児科）</p> <p>田中由起子、森川悟（神戸市立医療センター西市民病院小児科）</p> <p>中農昌子、橋本直樹（国保中央病院小児科・小児アレルギーセンター）</p> <p>山崎 晃嗣（市立貝塚病院 小児科）</p>

	<p>大塚敬太（市立奈良病院小児科） 土井政明、岩越奈由、大久保天進（市立東大阪医療センター小児科） 川上智子、出口美帆子（住友病院小児科） 今出礼、榎本真宏、谷内昇一郎（愛仁会高槻病院小児科） 杉本有紀子、相馬良子、田村玲子（星ヶ丘医療センター小児科） 濱田匡章（八尾市民病院小児科） 池田聡子（大和高田市立病院小児科）</p>
7. お問い合わせ先	<p>本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。</p> <p>また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としますので、2024年3月31日までに下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。</p> <p>照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先： (研究責任者) 市立貝塚病院 <u>小児科・山崎 晃嗣</u> 〒597-0015 大阪府貝塚市堀3丁目10番20号 TEL:072-422-5865 FAX:072-439-6061</p> <p>研究代表者： 大阪はびきの医療センター 上野 瑠美 〒583-8588 大阪府羽曳野市はびきの3-7-1 TEL:072-957-2121</p>